

別記様式 2（第 5 条関係）

会 議 録 （ 要 旨 ）

会 議 の 名 称		令和 7 年度第 1 回 利根町下水道事業運営協議会		
開 催 日 時		令和 7 年 8 月 8 日（金）午後 2 時から 3 時 3 0 分		
開 催 場 所		行政棟 4 階 会議室 4－A 会議室		
担 当 課		生活環境課		
出席者	委 員	坂野会長，手塚副会長，井出委員，大越委員，武藤委員，宮本委員，糸賀委員，番場委員，松永委員		
	事 務 局	雑賀課長，大貫課長補佐，中野係長，松居係長，赤尾津主査		
	そ の 他	コンサルタント：黒須氏		
議 題				
公開・非公開の区分		<div>公開・非公開</div>	傍 聴 者 数	3 人
非 公 開 の 理 由				
議 題 結 果				
会 議 の 内 容				
会長	<div>1. 開 会</div> <div>2. 委任状交付 新規委員 1 名</div> <div>3. 委員・事務局照会</div> <div>4. 会長あいさつ</div> <div>5. 議 事</div> <div><div>(1) 経営戦略について</div><div>(2) 使用料体系について</div><div>(3) 使用料適正化の方向性について</div></div> <div>最初に，利根町下水道事業運営協議会規則第 6 条第 3 項でございますがこちらでは，会議は半数以上の出席で成立ということになっております。</div> <div>ここで本日の委員出席数は定員 11 名のところ，現在 9 名の出席をいただいております。過半数以上の出席となっておりますので，会議が成立することをお伝えいたします。</div> <div>また，規則第 6 条第 5 項では，会議の議事は議事録によりその趣旨を記し，議長及び出席した 2 名の委員とともに署名することになっております。この協</div>			

	<p>議会では毎回議事録を作成いたしますが、公表する前に内容を確認するため、出席委員の中から毎回 2 名、交代で選出して、会長の私と選出された委員 2 名の方で、議事録へご署名いただくことになります。</p> <p>つきましては、第 1 回協議会の議事録署名委員でございますが、委員と委員にお願いしたいと思います。よろしいでしょうか。（異議なし）</p> <p>それでは、次第の議事の方に進めたいと思います。</p> <p>その前に、本運営協議会の方では傍聴というのがございます。皆様に確認しますが、傍聴の方を許可してよろしいでしょうか。（異議なし） それでは傍聴 3 名の方がおられると思いますが、会議の際には、ご静粛にお願いしたいと思います。よろしく申し上げます。</p> <p>それでは議事に進ませていただきます。まず議事の（1）「経営戦略について」事務局からご説明よろしくようお願い申し上げます。</p>
事務局	<p>※資料に基づき説明 資料 1 ～ 6 ページ 経営戦略について</p>
会長	<p>ご説明いただきありがとうございます。今ご説明いただきました件につきまして、これまで皆様と一緒に議論してまいりました。事務局の中野係長が復習と申しておりましたが、この内容を皆様と一緒に議論してきたわけです。確認事項やご質問がございましたら、再確認の意味も含めまして、挙手をお願いいたします。委員は初めての参加かと存じますので、分からないことがございましたら、質問していただくか、教えてほしい点があればお申し付けください。何かございますでしょうか。</p> <p>6 ページでご説明いただきましたが、利根町では昭和 52 年、すなわち 1977 年に下水道の整備を開始しておりますので、間もなく 2027 年になり、いよいよ 50 年、いわゆる耐用年数という点ではかなり危ないところまで来ております。ですから、管を交換したり、様々な場所で修繕・補修をしなければならない時期が、本当に迫っていることは間違いありません。現状としては、様々な場所でそういった補修や改修が行われているかと存じます。現状として、そろそろ寿命が来ておりますので、昨年度もご説明いただきましたが、今年度もこのような感じで改修を行っていますと一言ご説明いただけますでしょうか。</p>
事務局	<p>利根町では、現在、ストックマネジメント計画というものを作成しており、老朽管の調査を粛々と進めております。この調査で見つかりました、補修が必要な管などを順序立てて、更生工事、すなわち管を補修、内面をコーティングするような工事を進めているところです。現在、利根町にはまだ 50 年を迎える管は存在しておりませんので、老朽化率というのは 50 年を超えた管に関する率となるため、現状では老朽化率は出ておりません。しかし、間もなくそのあたりが進んでくる時期には来ているという状況です。</p>

会長	<p>ありがとうございます。そのような状況で、先ほどコーティングという言葉が出ましたが、何とか耐え忍んでいる状況であるようです。実際にそうしなければ、50年過ぎなくても、いわゆる老朽化とは言わずとも、だめになる時はだめになりますので、利根町としては、様々なことを一生懸命頑張っている状況です。しかし、いよいよ50年を迎えますと、抜本的に変えなければならない状況であることは間違いないという話を昨年度、皆様で確認したところです。結構深刻な問題です。</p>
委員	<p>最近で言えば、八潮市の事案などもあります。本日、仕事で八潮市から戻ってきたのですが、ちょうど穴の空いた場所のすぐ近くに本日行っていました。未だに通行止めが続いている状態です。今、コーティングは50年になってというお話がありましたが、それは少しずつ既に始まっているということなのですね。</p>
会長	<p>かなり深刻な問題であるという話は昨年度も出ており、ちょうど八潮市の話や、様々な下水道の話が偶然にもあったため、皆様もかなり危機感を抱かれたのは事実です。もちろん、上下水道だけでなく、ガス管の問題もありますし、非常に地中は危ないという話も出ておりました。今後、利根町の未来、道路は大丈夫なのかという話もございまして、かなり深刻な話だったかと存じます。</p> <p>他によろしいでしょうか。それでは次に進めさせていただきます。次は、（2）使用料体系について、エスティコンサルティングの黒須様からご説明いただきます。よろしくお願いいたします。</p>
コンサル	<p>※資料に基づき説明 資料7～16ページ 使用料体系について</p>
会長	<p>ご説明いただきありがとうございました。利根町は基本使用料を取っておらず、均一型使用料であるため、総じて他の自治体よりも使用料が安いということが言えます。利根町は非常にシャイなものですから、全国にそれを発信していませんので、これだけでも来る人がいてもおかしくないように思えます。特に一人暮らしあたりの使用料は非常に安いことが分かりますので、ぜひこれを宣伝して、学生に住んでほしい町・利根町としてアピールするのも良いかもしれません。先ほど説明がありましたように、20立米の使用量では県内3番目に安い水準となります。</p> <p>今ご説明いただきました話で、何かご質問やご意見はございますでしょうか。使用料をもう少し上げるべきだという意見もあるかもしれませんが、おそらくそのような意見はあまりないと思いますので、ご質問等はいかがでしょうか。せっかくですので、初めてご出席の委員、いかがでしょうか。利根町って</p>

	なかなか良いとこだなって感じですよ。
委員	良いところもありますし、逆に、この 10 立米、20 立米の比較的緑の薄いところが、全体的に多いのかなと逆に思うんですけども。ここを他と比較しても、そんなに変わらないような町なのかと。30 立米や 50 立米といった大型住宅、もしくは工場等がないですよ。
会長	通常、法人や工場に対しては料金設定を変えている場合が多いのですが、利根町の場合は基本的に均一料金であり、変更していません。もう少し工場などの誘致をこれでできていれば良かったのでしょうか。
委員	相対的に 10 立米から 20 立米の使用量が少ない方々を多く集めることができれば、相対的な収入が増えるのではないかと考えます。
会長	ただ、ここに示されている自治体の中でも、実際に 16 ページにございますように、県内で 3 番目に安いんです。1 ヶ月あたりですから、これを 12 倍すればかなりの差が生じるでしょう。
委員	安いところで人口を増やすと、新しいところ造ってしまうと、また工事が出てきてしまうのが心配。空き家を上手く利用できれば。
会長	設定値段が 1997 年から変わっていないという問題があります。1997 年、平成 9 年から変わっていないため、30 年近く変わっていないわけですから、当時の値段設定なんですよ。ですから、それをどう考えるかというのはもちろんあるかと思います。
委員	他と比較して、なぜこれほど安くできるのか、不思議なところですよ。
会長	ではなぜ安いのかという質問がありました。
事務局	お答えさせていただきます。なぜこれまで 30 年近く料金改定をしてこないで済んだかというと、利根町は団地開発時に業者が下水道を整備しており、受贈財産が半分を占めているため、町の予算を使って下水道工事を行ったわけではないからです。費用がかからずに整備された下水道施設が半数存在します。そのため、それにかかる借金の返済などもなく、これまでは安い料金で賄うことができました。しかし、これらの施設が今回の更新時期を迎えるにあたり、更新は全て町の予算、下水道予算を投入して工事を進めていかなければなりません。そのため、これまでは安く済んでいましたが、これからはその分を料金

	に賦課させていただき、値上げせざるを得ないと考えております。
会長	この話は前年度も伺っておりますので、初めて聞かれる方もいらっしゃるかもしれませんが、この機会にぜひその疑問を解消いただければと思います。もしよろしければ、当初の経緯について、おそらく委員さんと委員さんをご存知だと思いますので、何かお話しいただけますでしょうか。
委員	料金をいくらにするかという会議にはあまり加わっていなかったため、詳細は不明ですが、おそらく近隣と比較して、足並みを揃えようという方針で料金設定がなされたように思います。その後、周囲の自治体は改定して値上げしていましたが、利根町は先ほど事務局が申し上げたように、経費がかかっていなかったため、値上げせずに済んでしまったのが現状だと思います。
委員	その通りです。その分、一般会計からの補填でなんとかできていたという現状もあり、このような形になっていると思います。
会長	これまでは幸せだったということですね。実際、委員や委員が職員だった頃は、茨城県内だけでなく対岸の我孫子市なども参考にされたのではないのでしょうか。
委員	おそらく流域の中で見ていた気がします。構成市町村、龍ヶ崎市、牛久市、つくば市あたりの料金を参考にしていたのだと思います。
会長	非常に歴史的な話は、事務局の方々でもご存知ないことも、お二人はご存知かもしれません。実際に歴史の中で、このような水道、下水道がずっと行われてきました。利根町の場合、上水道に関しては県南水道、一部事務組合で行っておりますが、下水道は各自治体でそれぞれ進めていらっしゃると思います。他に委員の皆様で、ここで改めて確認したいことや聞いておきたいことがございましたら、よろしいでしょうか。生き字引のようなお二人もいらっしゃいます。役所の場合は人事異動もありますので、退職されると昔のことが分からなくなることがあります。その点では、委員や委員のような方々は本当に貴重な存在だと思います。これからもぜひ大事にし、長く貢献していただければと思います。
	では、次に移りたいと思います。皆様よろしいでしょうか。次は（３）使用料適正化の方向性についてご説明をお願いします。
コンサル	※資料に基づき説明 資料１７～２４ページ 使用料適正化の方向性について

会長	<p>どうもありがとうございました。ただいまご説明いただいた点につきまして、ご意見やご質問はございますでしょうか。かなり議論としては難しい内容が出てきましたので、詳細な部分は次回検討することになるかと思いますが、本日は方向性についてですので、何かご質問などございますでしょうか。特に、これまでの利根町が実施してきた一部使用料制が廃止されること、そして基本使用料制が導入されること、さらに均一型から累進使用料制が導入されることが大きいと思います。何かご意見・ご質問がございましたら、本日はあくまで方向性の話ですので、今のうちにお尋ねください。委員、いかがでしょうか。</p>
委員	<p>人口が減少するのが心配です。</p>
会長	<p>人口減少でこのような問題が起こっているのは間違いありませんので、人口をやはり増やさなければいけないのですが、そもそも日本全体としては1年間の子供の数が70万人程度に減っています。</p>
委員	<p>将来はなくなってしまうでしょうね。</p>
会長	<p>日本全体がその可能性がありますね。数で言うと合計特殊出生率という指標があり、一人の女性が生涯に産む子供の数を示すものですが、日本の人口を維持するためには、両親から子供が一人生まれただけでは人口が半分になってしまいます。基本的にお父さんとお母さんから、人口を維持するためには二人以上の子供がいないと人口は維持できません。二人から一人生まれたのでは半分になります。基本的には二人から二人生まれればそのまま人口は維持できますが、怪我や事故で子供が亡くなる可能性もあるため、2.1が必要だと言われています。しかし、現在の合計特殊出生率は1.3です。これは、ほとんどの世帯が一人っ子であるため、将来的に日本の人口が半分に減り、やがては国が潰れてしまう可能性はあります。この問題は国全体で考えなければなりません。利根町だけで考えていても解決できる問題ではありません。どうすれば子供を増やせるか、ということです。委員、いかがですか。</p>
委員	<p>基本使用料というのは、需要家費と固定費ということで、先ほどご説明のあった管の修繕費用などもここに含まれるのですね。それであれば取っていただいて全然問題ないのではないかと。そうでないと、日本は維持できないでしょう。</p>
会長	<p>先ほどの委員がおっしゃったように、子供がいなくなり人口減となるからど</p>

委員	<p>うしようもない、という話が先行して、皆様驚かれているかもしれません。その点について、委員、いかがでしょうか。</p> <p>料金の進め方はそれで良いと思います。子供が少なくなったと今おっしゃいましたが、地域によってどこまで修繕・更新を行うか、ここを更新すべきかといった方向性の検討も必要になるかと思います。これまで管が敷設されてから50年経って老朽化が進んだからといって、全てを交換するのではなく、住んでいる場所、偏在しているところにポイントを置いて、ここは投資した方が良く、ここは異なるやり方はないのかといった方向性も考えるべきかと思います。</p>
会長	<p>委員、いかがでしょうか。</p>
委員	<p>今回の使用料見直しにあたって、19ページには5年間を算定期間とすると記載されていますが、実際に今回の協議会で答申を出すにあたり、5年分の料金が賄えればよいのか、それとも10年、あるいは36年なのか、その辺りがはっきりしないと設定は難しいのではないのでしょうか。毎回5年ごとに見直しをするのですが、料金を上げるのは住民の方々の理解を得るのが大変だと思います。ですから、今回思い切って多めに上げてしまうのか、それとも5年でよいのか、その辺りの方向性をもう少し絞られると良いかと思います。</p>
会長	<p>ありがとうございます。その点については事務局で何かございますか。</p>
事務局	<p>まさにその通りで、今回の算定期間は令和9年度から13年度までの5年間で3,300万円不足するというシミュレーションを行っております。その後の21ページには令和36年度までの状況も明らかにさせていただきましたが、こちらはまだ期間が長いので、必ずしもこの通りに進むとは限りませんが、現時点でのシミュレーションとしては、より長い期間で見ると、さらに料金を上げざるを得なくなることが見えております。そのため、5年ごとに料金を少しずつ改定した場合と、10年分、あるいは20年分を一度に改定した場合とで、単価が一気に上昇してしまうことが分かりますので、そちらも含めまして、次回から料金水準をどの程度までにするかという検討をさせていただきます。投資にあたって、少しでもストックとなる余力を残すために、高めに設定するのか、もしくは住民の方々の負担を軽減するために、そこまでは上げずに少なめにしていくのか、そのような金額なども提示させていただきながら協議を進められればと思います。</p>
委員	<p>人口の多い時に徴収してしまったら。将来人口が少なくなる時に大変でかわ</p>

	<p>いそうだから。助けてもらった分を払えばよい。</p>
会長	<p>そうですね。今はまだ1万人おりますが、将来的には7,000人という話になれば、少し厳しいかもしれません。委員がおっしゃったように、少し高めに徴収しておくのが良いのではないかという話です。委員がおっしゃる通りだと思います。そのようなことも、今後の方向性ですので、少し考慮しながら検討しなければならないと思います。ですから、ぜひ事務局の方でも、その点を留意していただければと思います。やはり委員がおっしゃるように、今度住民の方々に納得していただけるかどうか重要な点だと思いますので、住民の方々に納得していただけるような案を皆様と一緒に考えていきたいと思っています。委員、いかがですか。</p>
委員	<p>方向性としては、このような形で検討していくということは分かります。ただし、議論していく中で、人口動態、高齢化、収入減少などもあるので、住民がどの程度まで負担増を受け入れてもらえるかという議論ができるようにしたいと思います。また、21ページの内容を見ると、通常考えるよりももっと大変になるのではないかと思います。様々なコストも上昇していますし、長期的に見ると財政的にはやはり厳しくなるので、それをどのように集めるかというのは非常に大変なことだと思います。こういった方針を打ち出していくのが難しいですが、それをやらなければ。</p>
会長	<p>今、委員がおっしゃったように、今後の人件費の上昇も非常に難しい問題だと思います。実際、私は20年間、中野区というところにずっと住んでいました。中野区には中野サンプラザというシンボルがあり、区長選の争点になるくらい重要な施設です。しかし、その中野サンプラザの改修案も潰れてしまいました。なぜかという、人件費が高すぎて当初の予算通りにいかないからです。そのため、改築や新築は当分無理な状況です。そのような点では、委員がおっしゃったように、なかなか厳しいのではないかというのはその通りだと思います。そういったこともある程度考慮しなければならない部分ではないかと思いました。では副会長いかがでしょうか。</p>
副会長	<p>ありがとうございます。方向性としてはこれでと考えているのですが、考えてみれば、これまで料金が低く設定されていて良かったのですが、その分これから人口が減少し、さらに人口推計よりももっと減っていくとなると、残った人たちが負担していくのはかなり難しくなると思います。そのため、今人が多い今のうちに多少負担を求めるべきではないかと捉えた場合、累進使用制において、例えば一人暮らしの方が使うような水量については、そこまで高くないなど、うまく調整しながら実施できれば良いのではないかと思います。以</p>

<p>会長</p>	<p>上です。</p> <p>ありがとうございます。他に何かございますでしょうか。方向性に関する話はこれで終了かと思しますので、次回からは詳細な個別具体的な話に入っていくかと思います。そのような時には、実際の5年スパンで良いのか、あるいは料金改定の具体的な時期も含めて考えていこうという話も出てくるかと思います。</p> <p>これで全ての議事は、私の予定通り終了いたしました。最後に、ファイナルアンサーとしていつもお伺いしておりますが、何かこれだけは話しておきたい、これだけは聞いておきたいということがございますでしょうか。方向性はこれで決まってしまうので、何かございましたらよろしいですか。もしよろしければ、委員と委員から、方向性に対してこうした方が良いというご意見があれば、ぜひお伺いしたいと思います。</p>
<p>委員</p>	<p>方向性というよりは、今回、先ほど話題に出た八潮市における下水道管の陥没事故についてですが、町としてはどのような対応を行っているかという点についてです。</p>
<p>事務局</p>	<p>国からは、全国の重点調査として、現在2メートル以上の管渠の調査を緊急で行うよう通知が来ております。利根町の下水道管については、最も大きい管で800mmや900mm径の管も存在しますが、そこらは対象になっておりません。しかし、それとは別に雨水管渠があり、こちらには2メートルを超えるボックスカルバート、四角い管渠がありますので、そこらについては緊急で今年度中に目視で調査する業務委託を現在発注しております。今後につきましては、その結果が2月までに国へ報告されることになっておりますので、またその結果が全て集まってから、今後の話が出てくるのかなとは思いますが、現在そのような事業を進めているところです。</p>
<p>委員</p>	<p>今の検査に関連することですが、今月の2日に行田市でマンホールの点検中に1人が倒れ、助けに入った3人も倒れて4人が亡くなるという事故がありましたね。そのような場合も、町の方で点検を委託する際に、業者に安全対策を十分に行うよう徹底して指導しておいていただければと思います。改めてですが、それだけです。今後そのような事例が増えてくると思しますので、その点に気を配って、十分に指導していただければ、事故を未然に防止できると思いますので、よろしくお願いいたします。</p>
<p>会長</p>	<p>というわけで、方向性に対するご意見を承りました。これで、会議の議事進行を終了したいと思います。最後に、今回は非常に良い意見がいくつも出たか</p>

	<p>と思います。まず委員からは、これからは地区別に選択と集中で、修繕なども考えていくべきだという意見が出ました。また、委員からは、見直し時期の問題、スパンの問題、あるいは料金改定の時期についても住民の理解が得られるように進めるべきだという意見もありました。そしてさらに、委員からは人口減に関して、今のうちに手を打った方が良いのではないかという意見もございました。そのような方向性で進めさせていただきます。最後に、副会長から、何かまとめ、あるいはご意見がございましたら、よろしくお願いいたします。</p>
副会長	<p>ありがとうございます。本日ご説明いただき、私もよく理解できました。ありがとうございます。皆様からもご意見を頂戴し、最近の近隣自治体の課題についてもご説明いただきましたし、5年スパンで良いのかという点も非常に重要な点であると感じました。今後のことを考えた時に、料金を頻繁に改定するのはなかなか受け入れがたいですし、これから人口も減っていくとなると、どの程度のスパンで改定していくのが良いのか、改めて考えていけたらと私の方で思いました。ありがとうございました。</p>
会長	<p>皆様、私の議事を終了させていただきますが、今回の慎重審議、どうもありがとうございました。</p> <p>6. その他</p> <p>事務局より、次回会議日程について説明 令和7年10月1日（水）10時</p> <p>7. 閉 会</p>